

# 話すこと・聞くこと

## 第2学年

相手の立場や考えを理解し、互いの発言を検討して自分の考えを広げること

### つまずきの実態

～こんな生徒の姿が見られますか？～

- ・自分の意見を具体的にし、話し合い等で自分の意見を整理して伝えることができない。
- ・相手の意見を踏まえて、自分の考えをもつことができない。

(1)は書けたが、  
(2)自分と逆の立場となると、書けないし、伝えられない。  
(生徒2)

問 「射倒す」とあるが与一が男を射たことについて、

(1)「あ、射たり。」と言った人の気持ちを考えて、現代語の話し言葉で書きなさい。

・与一が見事敵を射て、命中して嬉しいから。(生徒1)

(2)「情けなし。」と言った人の気持ちを考えて、現代語の話し言葉で書きなさい。

・無回答 (文末のみ…だなあ)  
(生徒2)

(「扇的」より)

自分と同じ立場であればある程度書けるが、内面の深くまで考えられていないため、自分の意見がなくなってしまう。(生徒1)

### 実践の概要

単元名

登場人物の立場を理解し、心情を話し合おう

『平家物語』 光村図書

目標 相手の立場や考えを理解し、互いの発言を検討して自分の考えを広げること。

- 内容
- ・自分の意見を話し言葉でまとめる。
  - ・自分と同じ意見を聞いて考えをまとめる。
  - ・逆の立場の意見を聞いて考えを深める。
  - ・両方の立場の意見を聞き、自分の考えを広げる。

### 学習内容の系統と各学年に見られるつまずき

	学習内容 (単元名)	つまずきの実態
第3学年	言葉の響きやリズムを味わいながら朗読しよう	相手や場に応じて自分の考えを工夫して話し、相手の表現から自分の考えをよりよいものにするように聞くことができない。
第2学年	登場人物の立場を理解し、心情を話し合おう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の意見を具体的にし、話し合い等で自分の意見を整理して伝えることができない。</li> <li>・相手の意見を踏まえて自分の考えをもつことができない。</li> </ul>
第1学年	話題や方向性を捉えて話し合おう	話す側に情報量の過不足があり、聞く側にも情報をくみ取る姿勢に不足がある。

### 単元末の目指す姿

- ・自分の意見を具体的に考え、ICT機器等を活用し、自分の考えをまとめ、発表できるようになる。
- ・人の意見を聞いてその思いを尊重し、お互いの立場に理解を示すなど幅広い視野で物事を考えられるようになる。

### つまづき解消に向けた指導の工夫 ①

#### 項目を示したワークシートを用いて発表する内容をまとめさせる。

- 活動のねらい▶
- あらかじめ話す内容を整理し、考えたことと話す内容に一貫性をもたせる。
  - 観点を揃えることで、話し合いにおいて考えを深めることができる。

#### ワークシート

テーマ

「射倒す」とあるが与一が男を射たことについて

(1)「あ、射たり。」と言った人の気持ち

• 舞っている者も射ることができるとは、与一の腕はすばらしい。

(2)「情けなし。」と言った人の気持ち

• 敵といっても、こちら側の腕を認めてくれている人なのになどいことだ。

(3)自分は(1)(2)のどちらの立場に近いか。

• (2)の立場に賛成。与一の腕を認めてくれたのに、殺してしまうとは、あまりにもひどいと思った。

#### ここがポイント

発表をする際には、原稿を読まず、自分の言葉で説明するように指示する。

#### (期待される生徒の姿)

自分の立場が明確になり、話し合いの際に、同じ立場からは表現の工夫を、逆の立場からは考え方の違いを学ぶことができる。

### つまづき解消に向けた指導の工夫 ②

#### 各自で意見を考えた後、立場を明確にして考えを交流する活動を行う。

- 活動のねらい▶
- 立場による意見の違いを比較し、自分の考えに反映させることができる。

#### ここがポイント

- 「誰が」「どの立場で」「どのような意見を言っているのか」を整理してメモするように指示する。
- 考えを比較させたい時など、必要に応じて、生徒の発表用ワークシートをスクリーンに投影する。

#### 考えの交流



ワークシートで、どちらの立場の気持ちも考えていたから、逆の立場の言いたいこともよくわかるな。

この意見を使って、自分の考えに書き加えよう。

#### (期待される生徒の姿)

- 話し合いの中で、同じ意見を聞くことによって考えをまとめられる。
- 逆の立場の意見を聞くことで自分の考えを広げられるようになる。